

# 養父市におけるへき地医療支援体制の構築

社会医療法人渡邊高記念会、公立八鹿病院組合、養父市がそれぞれのニーズや課題に対応しながら地域（へき地）医療を安定的に確保していくために連携して取り組むものです。

## 渡邊高記念会

- ・社会医療法人としての公共性の向上
- ・循環器系の専門病院を持つ強み
- ・但馬地方からも多数の患者が受診

連携により

- ◆地域（へき地）医療への貢献
- ◆通院患者負担の軽減

支援

## 八鹿病院

- ・指導医・専門医の不足
- ・へき地医療拠点病院としての役割

連携により

- ◆中核病院としての専門医療機能の充実
- ◆へき地拠点病院の機能強化
- ◆若手医師の臨床研修環境が充実

支援

## 大屋診療所（養父市）

- ・近隣民間医の閉院による重要性の増加
- ・勤務医の負担軽減と安定運営

連携により

- ◆複数医師の体制による安定運営への第一歩
- ◆八鹿病院からの継続した医師派遣体制が構築

## 持続可能な医療体制の構築へ向けて

### 渡邊高記念会から八鹿病院への支援内容

#### ① 医師の派遣

- ・循環器のチームから交代で医師 1 名を派遣（毎週金曜日ほか）
- ・麻酔科医師 1 名を派遣（毎週火曜日）

#### ② コメディカルの研修

- ・心臓リハビリテーション指導士の派遣
- ・技師の交流 等

### 八鹿病院から大屋診療所への支援内容

#### ① 医師の派遣

- ・総合診療の研修として、若手医師を派遣（毎週水曜日ほか）
- ・地域ニーズが高い整形外科医を派遣（毎週火曜日）

### 渡邊記念会と養父市との連携内容

#### ① 健康講座等における連携・協力

- ・疾病予防啓発事業における講師派遣 等
- ・運動・栄養指導等における相互の人材交流やノウハウの共有

# 養父市におけるへき地医療支援体制の構築 <参考情報>

## ■組織・施設の概要等

### 社会医療法人渡邊高記念会

◇運営形態 社会医療法人（平成22年認可・県下初）

◇理事長 佐々木恭子

◇病院・施設概要等

- ・西宮渡辺病院<院長 佐々木建陽> 病床数：184床
- ・西宮渡辺心臓脳・血管センター<センター長 民田浩一> 病床数：108床
- ・西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 病床数：26床
- ・西宮渡辺心臓リハビリクリニック
- ・その他、介護施設、居宅型施設、在宅支援訪問、保育所を運営



西宮渡辺病院



西宮渡辺心臓脳・血管センター



増築棟  
6月完成予定

### 公立八鹿病院組合

◇運営形態 養父市、香美町を構成市町とする一部事務組合

◇管理者 富勝治

◇病院・施設概要等

- ・公立八鹿病院<院長 後藤葉一> 病床数：380床
- ・公立村岡病院 病床数：42床
- ・その他、看護専門学校、訪問看護センター、老人保健施設、居宅介護支援事業所を運営



### 養父市国保大屋診療所

◇運営形態 養父市国保診療所

◇管理者 養父市長 広瀬栄

◇運営体制 医師（所長）加藤健、看護師4名（1名パート）、事務員1名

◇主な診療圏域 大屋地域（約3,300人）、訪問診療患者約40人



# 養父市におけるへき地医療支援体制の構築 <参考情報>

## ■ 社会医療法人の認定要件（へき地の医療に係る基準） 【医療法第42条の2第1項第5号】

へき地の医療の確保に必要な業務を行うための医師の派遣が次のいずれかに該当

(1) 病院からへき地診療所への医師の派遣

病院からへき地診療所に対し年間延べ53日以上医師派遣

(2) 病院からへき地医療拠点病院への医師の派遣

・病院からへき地医療拠点病院に対し年間延べ106日以上医師派遣

・当該へき地医療拠点病院からへき地診療所に対し年間延べ106日以上医師派遣

## ■ へき地医療支援体制対策の概念

- 従来の枠組み
- 今回の枠組み

